

「太刀ウオ？」「立ちウオ？」 キラキラと輝く「タチウオ」を冬季限定展示！

大阪市港区の海遊館では、平成 28 年 12 月 3 日（土）から平成 29 年 1 月上旬までの冬季限定で、開催中の海遊館イルミネーション（平成 28 年 11 月 17 日報道発表済）との連携企画として、タチウオ（約 70 匹）の展示を開始しました。「タチウオ」は食材としておなじみの魚ですが、飼育が難しく水族館での展示は極めて稀で、生きている姿はまるで金属のように銀白色に輝いています。今回の展示では、「太刀（たち）のようにキラキラと輝きながら立ち泳ぎをする様子」をご覧ください。

「タチウオ」の名前の由来には諸説ありますが、一般には銀白色に輝く細長い姿が、太刀（たち）に似ていることから名付けられたようです。銀白色の光沢はグアニン（銀色の色素）によるもので、タチハクと呼ばれる箔の原料になり、模造真珠や銀箔紙の材料に使われていました。長く伸びた背ビレを波打つように動かしながら、頭部を上にした状態で「立ち泳ぎ」することも特徴で、海遊館ならではの生態展示をご覧ください。

海遊館では、「太刀（たち）のようにキラキラと輝きながら立ち泳ぎをする様子」を開催中の海遊館イルミネーションと合わせてご覧いただき、楽しみながら生命の不思議を感じていただけたらと考えています。



「タチウオ」が泳ぐ様子

1. 【タチウオの展示について】

展示期間 平成 28 年 12 月 3 日（土）から平成 29 年 1 月上旬まで（予定）〈期間限定展示〉
場 所 海遊館 6 階、特設水槽
展示生物 タチウオ（約 70 匹、全長約 70cm）

※生き物の状態により、予告なく展示を変更または中止する場合があります。

※タチウオは光に非常に敏感な生き物であるため、フラッシュ撮影を禁止にさせていただきます。

2. 【タチウオについて】

和名：タチウオ（タチウオ科） 英名：Largehead hairtail 学名：*Trichiurus japonicus*

世界中の暖かい海に分布。日本では北海道以南で見られる。銀白色の体には鱗、腹ビレ、尾ビレはなく、尾の先はひも状。長い背ビレを波打つように動かし、頭を上にして泳ぐこともある。全長は約 1.5m になる。